

ワールドクラスの教育研究活動、アジア展開と多様化、連携によるイノベーション創出、自律的なマネジメント改革により、名古屋大学を世界屈指の研究大学に成長させる

行動目標

- ① 国際標準の教育の推進により、様々な場面でリーダーシップを発揮し人類の幸福に貢献する「勇気ある知識人」の育成
- ② ノーベル賞受賞者輩出など世界屈指の研究大学として人類の知を持続的に創出
- ③ アジアと共に学び、男女共同参画など多様性を尊重する大学を実現
- ④ 世界有数の産業集積地にある基幹大学として、産学官連携を含む多様な連携によるイノベーションへの貢献と社会的価値の創出
- ⑤ シェアドガバナンスをふまえた総長のリーダーシップにより諸改革を自律的に推進

目 標	
事 業 計 画	
国際標準の教育の推進により、様々な場面でリーダーシップを発揮し人類の幸福に貢献する「勇気ある知識人」の育成	
<ul style="list-style-type: none"> ●組織改革による教育における機能強化の推進 ●教育課程の3方針（学位授与、教育課程編成、入学者受入れ）の精査と附属高校との連携などを通じた高大接続の推進 ●個別選抜の改革やアドミッションセンターの設置を通じた、世界に挑む優れた学生の獲得 ●国際通用性を高める教育制度改革（クォーター制導入等）とカリキュラム改革（ジョイントディグリープログラムの設置・推進等） 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育の質保証システムの構築 ●リーディング大学院やビジネス人材育成センターの成果を発展させる支援組織の整備 ●企業と連携・協力した社会人大学院教育プログラムの充実 ●多様な学生に対するきめ細かな支援の充実
ノーベル賞受賞者輩出など世界屈指の研究大学として人類の知を持続的に創出	
<ul style="list-style-type: none"> ●高等研究院、WPI、未来社会創造機構等を中心とした世界トップレベルの研究の推進と成果の社会発信 ●分野横断的で独創的な研究拠点支援による全学の基盤的研究の促進 ●若手、女性、外国人等、多様な研究人材の確保と世界の研究リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ●AC21など国際ネットワークを活かした世界トップ大学との組織的な国際共同研究教育の推進 ●アジアにおけるハブ大学を目指した、サテライトキャンパスなどのネットワークを活用した共同教育研究の展開 ●全学の設備機器の共用と、University Research Administrator等による研究推進支援体制の充実
「世界の誰もが活動の場として選びたいキャンパス」の実現と、アジアと学び世界に挑む人材の育成による持続可能な世界の構築への貢献	
<ul style="list-style-type: none"> ●教育研究環境整備により留学生を2020年までに3,000人、外国人教員等を650人へ ●学生の海外留学者を2020年には1,000人へ ●G30の成果に基づく留学生受入れプログラムと英語講義の拡大（G30Next） ●海外に派遣する学生教職員の危機管理体制の整備と充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●国際化に対応したキャンパス環境の充実 ●ASEANネットPlusなどアジア戦略の展開 ●アジアサテライトキャンパスの着実な展開 ●東海地区の大学連携による国際化の推進
世界有数の産業集積地にある基幹大学として、産学官連携を含む多様な連携によるイノベーションへの貢献と社会的価値の創出	
<ul style="list-style-type: none"> ●未来エレクトロニクス集積研究センターなどの整備によるオープンイノベーションのための新しい産学官連携研究開発体制の構築 ●COIプログラムの発展等、強みのある異分野融合研究の組織的な強化 ●産学協同研究講座や産学協同研究所などの誘致による産学連携体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●技術移転やベンチャー企業育成などを通じた新産業創成への貢献 ●アントレプレナー教育や産学連携教育などの推進による社会的価値の創出に貢献できる実践的な人材の育成 ●減災連携研究センターなどを中心とした安全・安心な持続的社会的形成のための産学官民連携モデルの構築と地域強靱化への貢献
次世代医療をリードし、国際水準の臨床研究と診療、人材育成を行う中核拠点としての附属病院機能の一層の強化	
<ul style="list-style-type: none"> ●がん、移植医療など特に強化すべき分野の組織整備を推進 ●最先端医療機能強化棟の新設及び中央診療棟の再編等、スペースの有効活用のための「病院整備プラン」策定 ●海外拠点を利用した内視鏡分野の展開、タイバンコク病院との連携等による病院機能の国際展開の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療人材有効活用促進事業など次世代を見据えた地域医療連携の強化 ●医療法に基づく「臨床研究中核病院」の承認取得等による革新的医療技術創出拠点として最先端臨床研究の推進 ●安全な医療を提供するための「病院質向上推進本部」等を中心としたモニタリング体制の強化、医療の質向上のための人材育成
国立大学の附属学校としての機能の点検と推進、大学の発展への活用	
<ul style="list-style-type: none"> ●高大接続の推進、個別選抜方法の改革への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ●先進的な中等教育プログラムの推進、長期短期の留学生受入れ数拡大による中等教育のグローバル化の推進

目 標	
事 業 計 画	
シェアドガバナンスをふまえた総長のリーダーシップにより諸改革を自律的に推進	
●教育研究機能の強化をはかるため、教育研究組織改革を推進（工学系、情報系、人文・社会科学系の教育研究組織の全学的な見直しによる）	
<ul style="list-style-type: none"> モノづくりをグローバルにリードする人材育成のための工学部・工学研究科の再編 新たな価値を創造し、人類の直面する課題解決に挑む、幅広い情報関連人材育成を目指す学部・研究科の設置 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化時代に必要な異文化理解力を備えた人材の育成に向けた人文系教育研究組織の再編 地球規模の課題解決に挑む国際開発研究科の機能強化 宇宙から地圏までの一体的な研究を展開する宇宙地球環境研究所の設置 革新的省エネルギー研究を先導する未来材料・システム研究所の設置
●世界屈指の研究大学を支える財務基盤の構築	
<ul style="list-style-type: none"> 産学連携を通じた共同研究、企業研修による外部資金の獲得等、多様な財源の確保 研究、教育に関する競争的資金、補助金を獲得するための支援体制の強化 管理業務、研究・教育における経費管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 大学の機能強化の観点からの戦略的なリソースの配分、資産の効率的活用 2021年（創基150周年）に向けての基金目標100億円 財務戦略チームの設置による学内外のノウハウを活かした財務戦略の構築 病院機能強化による安定的な附属病院収入の確保
●世界水準のキャンパスへの「創造的再生」	
<ul style="list-style-type: none"> 教育研究環境の質的向上を図り、将来像を共有するための「キャンパスマスタープラン」の改訂と実行 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能なキャンパス実現のための施設マネジメント計画の策定と実行
●世界・アジアと連携した男女共同参画の推進	
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画推進のための拠点の設立 女性教員の比率20%を目指した女性教員採用枠（PI、若手）の拡充及び女性管理職の登用推進 	<ul style="list-style-type: none"> 育児と仕事の両立を可能とするモデル化事業の実施 産学官連携による男女共同参画の推進
●名古屋大学のミッションを達成するための運営基盤の強化	
<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを重視した総長のリーダーシップによる効率的、弾力的な資源（人員、予算、施設・設備）の再配分 重要な施策や課題の検討について、ネットワークガバナンスなど多様な手法の活用 大学のガバナンスを支える運営基盤組織（職員組織）及び教職員のマネジメント能力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> エビデンスに基づいたリーダーシップを発揮するためのIR（Institutional Research）機能の強化 年俸制、クロスアポイント、テニュアトラック等の人事制度改革の着実な推進
●世界で卓越した大学にふさわしい内部統制と新たなリスク管理体制の整備、構成員のコンプライアンス意識の向上	
<ul style="list-style-type: none"> 内部統制システムの構築・整備を促進するとともに、構成員に対して法令遵守・ガイドラインの順守の徹底及び啓蒙活動の実施 各種の多様なリスク情報に関する発信・受信力及び当該リスク情報共有ネットワークの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 各種リスク管理の専任専門家の適切な配置と連携強化 グローバルなリスク管理における国外の大学・関係機関との連携を強化